

## 1 単元名 Hi, friends! 1 Lesson 7 「What's this?」

## 2 単元について

本単元では、“What's this?”や“It's ~.”の表現に触れながら、ある物が何かを尋ねたり、答えたりする表現に慣れ親しむことを目標としている。児童は2年生で“What's this?”の学習をしており、あるものが何かを尋ねる表現に触れてきている。本単元では、“What's this?”と尋ねるだけでなく、“It's ~.”と答える表現にもふれていく。Sit Down Game「推理ゲーム」では、文房具などのある一部分を写したものを提示し、児童は写っているものは何かを推理し、答えていく。答える際は単語だけではなく、“It's ~.”としっかりとつけて答えることができるように、“It's~.”という文章を繰り返し聞かせていく。

本時のMain1「これな～んだ？」では、黒板に円を描き、その円に少しずつ絵をつけたしていく。児童はその絵を見ながら何が描かれているかを予想する。予想したことが当たっているかを楽しませながら英語を聞かせる活動にしていく。児童にも出題させ、“What's this?”の音声のinputを確かめていく。Main2「これな～んだ？2」では黒板に描くものを地図記号に変える。社会科で学習した地図記号を取り扱うことで児童の興味・関心を持続させることをねらいとしている。また、取り扱う地図記号が表すもの（工場や学校など）の英語の言い方にもたくさん触れさせ、語彙を増やす活動にしたい。Main3「3ヒントクイズ」は、あるものについて“It's ~.”と3つヒントを出していき、“What's this?”と尋ねていく。児童にとって身近なものを題材にすることで児童に関心をもたせ、より意欲的に活動に取り組めるようにすることをねらいとしている。本単元の全活動を通し、“What's this?”や、“It's ~.”の表現を音声として何度も聞かせることで、英語として自然に発音できることを目指していきたい。

## 3 児童の実態

<省略>

本学級の児童は、外国語活動に対する関心が高く、外国語活動に楽しく取り組んでいる。アンケート結果でも、96%の児童が「外国語活動が好き」と答えている。また、英語が使えるようになりたいか、英語は大切だと思うかという質問に、ほとんどの児童が「使えるようになりたい」「大切」と答えている。その理由に「英語を使って日本の文化を教えてあげられる」や、英語を使ってしてみたいことに「英語で日本の文化を紹介すること」を挙げ、外国との交流に高い関心を持っていることがうかがえる。外国語活動を行って3年目になる今年度、担任やALTが話している内容を、多くの児童が「たぶんこんなことを言っているだろう」と意味を類推しながら、楽しく活動できるようになってきた。しかし、外国語活動の内容を「理解できていない」という児童もいるので引き続き、英語の意味が分かるような話し方を心掛け、授業を進めたい。そして、たくさんの英語を聞かせ、英語に慣れ親しませ、少しずつ表現できるようにさせていきたい。

## 4 研究主題との関連

<省略>

目指す児童像に迫るために、本単元では、Sit Down Game「推理ゲーム」やMain1、2「これな～んだ？」、Main3「3ヒントクイズ」を通して、何度も“What's this?”“It's ~.”を聞かせ、ある物が何かと尋ねたり答えたりする表現に慣れ親しませたい。

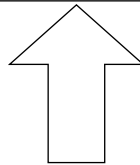
【学びをつなぐ教育の視点から】

Hi, friends! 1 Lesson7 「What's this?」

- ・ある物について積極的にそれが何かと尋ねたり、答えたりしようとするコミュニケーションへの関心・意欲・態度
- ・ある物が何かと尋ねたり、答えたりする表現への慣れ親しみ
- ・日本語と英語の共通点や相違点から、ことばの面白さへの気づき

(3年生) Lesson 4 「I like apples.」

(2年生) Lesson 1 「What's this?」



学活・道徳  
人間関係作り  
学級愛、自分らしさ

外国語活動・ABC タイム  
英語の音声の慣れ親しみ  
挨拶の仕方、数・色の表現

道徳・体育  
友情・信頼・認め合い

国語科 ことばの学び 日本語の音声・ことばづくり・文法 等

これまでの生活の学び 母語の習得・生活経験・体験

5 単元のねらいと評価の計画（4時間扱い）

(1) 単元のねらい

- ・ある物について積極的にそれが何かと尋ねたり、答えたりしようとする。  
【コミュニケーションへの関心・意欲・態度】
- ・ある物が何かと尋ねたり、答えたりする表現に慣れ親しむ。 【外国語への慣れ親しみ】
- ・日本語と英語の共通点や相違点から、ことばの面白さに気付く。  
【言語や文化に関する気づき】

(2) 評価の計画（4時間扱い）

(◎：本時で重点的に行う評価 ○：単元を通して可能な限り見取り積み重ねていく評価)

時間	ねらい	コミュニケーションへの関心・意欲・態度	外国語への慣れ親しみ	言語や文化に関する気づき
1	◎ある物が何かを尋ねたり答えたりする表現に慣れ親しむ。 ○日本語と英語の共通点や相違点から、ことばの面白さに気付く。		◎	○

2 本時	◎ある物が何かを尋ねたり答えたりする表現に慣れ親しむ。 ○日本語と英語の共通点や相違点から、ことばの面白さに気付く。		◎	○
3	◎ある物が何かを尋ねたり答えたりする表現に慣れ親しむ。 ○ある物について積極的にそれが何かと尋ねたり、答えたりしようとする。	○	◎	
4	◎ある物が何かを尋ねたり答えたりする表現に慣れ親しむ。 ○ある物について、積極的にそれが何かと尋ねたり答えたりしようとする。	○	◎	

## 6 指導の計画

時間	1	2 (本時)	3	4
学習過程	活動例			
ウォームアップ	あいさつ			
	Sit Down Game 「推理ゲーム」	Sit Down Game 「推理ゲーム」	Sit Down Game 「スーパーで売っている物ゲーム」	Sit Down Game 「家の中にある物ゲーム」
	Song 「Do-Re-Mi」			
レッスン・チャレンジ	Main-1 【えいごリアン⑤】 “What’s this?” “It’s a rocket.”	Main-1 「これな～んだ？ 1」 (絵で)	Main-1 「Let’s Listen」	Main-1 「ちぎり絵クイズ」
	Main-2 「バッグの中には・・・？」	Main-2 「これな～んだ？ 2」 (地図記号で)	Main-2 「Let’s play」	Main-2 「ブラックボックスクイズ」
	Main-3 絵本 「やさいのおなか」	Main-3 「3ヒントクイズ」	Main-3 絵本 「くだものなんだ」	Main-3 絵本 「COLOR SURPRISES」
トシキ	振り返り「シートで振り返る」			
	あいさつ			
表現例	What’s this? What’s in my bag? It’s ～.	It’s red. It’s round. It’s fruit. What’s this? That’s right.It’s an apple.	What’s this? It’s ～.	It’s red. It’s sweet. What’s this? It’s a strawberry.

語彙例	身の回りの物:triangle ,fish,recorder,shoe,notebook,eraser,glove,beaker,bird,textbook,eggplant,brush,mat,bat,cap,map,ruler,globe,frying pan,cup,piano,flower,sun, 果物:apple,lemon,watermelon,persimmon,pear,grapes,orange,banana,loquat,kiwi fruit, strawberry,fig,papaya,peach,passion fruit,pineapple
-----	--

## 7 本時のねらい

◎ある物が何かを尋ねたり答えたりする表現に慣れ親しむ。

【外国語への慣れ親しみ】

○日本語と英語の共通点や相違点から、ことばの面白さに気付く。

【言語や文化に関する気付き】

## 8 授業改善の視点

児童が興味・関心をもって活動に取り組むことで、ある物が何かを尋ねたり答えたりする表現に自然に慣れ親しんでいけるよう、以下の視点を設定した。

- ① 児童が「What's this?」と尋ねられた時に自然に「It's ~.」と答えられるように音声を繰り返し聞かせていく。
- ② Main1の「これな～んだ?」では、より関心をもって取り組めるよう、児童にも「What's this?」と出題させていく。
- ③ Main2の「これな～んだ?」では、題材に社会科で学習した地図記号を取り扱うことで、児童の興味・関心を持続させていく。
- ④ Main3の「3ヒントクイズ」では、これまでに扱った英語が音声としてどの程度 input されているか確認するため、Main2までに扱ったものを問題として取り上げ、考えさせる。

## 9 本時の展開 (第2時/4時間)

活動内容 (時間)	児童の活動	ティームティーチング		○指導上の留意点 ◎教材・教具 ◆評価規準と評価方法
		担任の活動	JTEの活動	
1 あいさつ 1分		JTE: "Hello, everyone. How are you?" 児童: "I'm fine, thank you. And you?" JTE: "I'm fine too, thank you." 担任: "Let's start today's English lesson."		○相手をよく見て挨拶をさせる。
2 Sit Down Game 「推理ゲーム」 6分	・ある物の一部分が写った写真を見て、それが何か答える。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・JTEと交代しながらある物の一部分が写った写真を見せ、児童に尋ねる。</li> <li>・何が写っているか分かった児童から座らせる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・担任と交代しながらある物の一部分が写った写真を見せ、児童に尋ねる。</li> <li>・何が写っているか分かった児童から座らせる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○一つの文章を繰り返し返し、何度も聞かせるようにする。</li> <li>○単語だけで答える児童には、It's ~.と答えられるように、教師が文章で聞かせるようにしていく。</li> </ul>
		<ul style="list-style-type: none"> <li>・"What's this?"</li> <li>・"It's ~."</li> <li>・"Yes. OK! Sit down."</li> </ul>		

<p>3 Song 「Do-Re-Mi」 6分</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・楽しく英語の歌を歌う。</li> <li>・JTE の歌に合わせて歌える部分を歌う。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・児童とともに歌う。</li> <li>・児童に聞こえたことばを尋ね、そのことばを板書（線や絵や記号や絵で）していき、歌の流れが視覚でとらえられるようにしていく。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・児童とともに楽しく歌う。</li> <li>・歌の大体の意味が分かるように聞かせていく。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○楽しい雰囲気の中で歌う。</li> <li>○自然に繰り返し歌い聞かせる。</li> <li>○JTE の歌を聞かせながら英語の音と自分の音を比べられるようにする。</li> </ul>
<p>4 Main-1 「これな～んだ？ 1」（絵で） 9分</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・黒板に描かれていく絵を見て、その絵が何を表しているか予想する。</li> <li>・予想したものを答える。</li> <li>・黒板に絵を描きながら、“What’s this?”と出題する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・黒板に円を描く。</li> <li>・絵を付け足していきながら何かを当てさせる。</li> <li>・JTE と交互に“What’s this?”をつかい児童に質問していく。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・黒板に絵を描く。</li> <li>・絵を付け足していきながら何かを当てさせる。</li> <li>・担任と交互に“What’s this?”をつかい児童に質問していく。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>◆あるものが何かを尋ねたり答えたりする表現に慣れ親しんでいる。</li> <li>【外国語への慣れ親しみ】</li> <li>○円に絵を付け足していく毎に“What’s this?”の表現を児童に聞かせる。</li> <li>○“What’s this?”の表現がどれくらい入っているかを確認。</li> </ul>
<p>5 Main-2 「これな～んだ？ 2」（地図記号で） 9分</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・黒板に描かれていく地図記号を思い出し、答える。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地図記号を少しづつ黒板に描いていき、何の地図記号だったかを思い出させる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・単語で答えた児童の後に文章で言い、繰り返し聞かせる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>◆あるものが何かを尋ねたり答えたりする表現に慣れ親しんでいる。</li> <li>【外国語への慣れ親しみ】</li> <li>◎地図記号カード</li> </ul>

みかん・ドーナツ・風船・太陽など

工場・市役所・学校・病院・郵便局・寺・神社など

・“What’s this ?”  
・“No. It’s not a sun.”  
・“That’s right. It’s a factory. ”

<p>6 Main-3 「3ヒントクイズ」 9分</p>	<p>・担任と JTE の 言うヒントを 聞き、それが何 か考える。</p>	<p>・3つのヒントを出 し、それが何かを 当てさせる。 (JTE と交互で)</p>	<p>・3つのヒントを 出し、それが何 かを当てさせ る。 (担任と交互で)</p>	<p>◆あるものが何か を尋ねたり答え たりする表現に 慣れ親しんでい る。 【外国語への慣れ 親しみ】 ※Main1 から Main3 のすべての活動 を通して評価。</p>
<p>7 振り返り 4分</p>	<p>・今日の活動を 振り返る。</p>	<p>・あるものが何かを 尋ねたり答えたり する表現に慣れ親 しむことができた か振り返らせる。</p>	<p>・担任と分担して 振り返りカード を配布する。</p>	<p>○次時の意欲につ ながるようにで きたことを称賛 する。</p>
<p>8 あいさつ 1分</p>	<p>担任：“That’s all for today’s lesson!” 児童：“Thank you, Ms.○○.” JTE：“Thank you, too.” 児童：“Thank you, Mr.○○.” 担任：“Thank you, too.” JTE：“See you next time.” 児童：“See you.”</p>			<p>○相手をよく見 て、心をこめて 挨拶をさせる。</p>